

2021年5月27日
学校法人尚絅学院

本学の教育機関(尚絅学院大学)の職員1名のメールアドレスが窃取され、不正アクセスを受ける事案が発生しました。パスワード窃取からアカウントを停止するまでの間、不正アクセスされた当該職員のアカウントを差出人(発信者)として、学内外に多数の迷惑メールが送信されました。また、攻撃者が当該職員のメールアドレスにログインできていたことから、保存されていた過去メールが攻撃者に閲覧された可能性がございます。

今回このような事案が発生し、関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたこと、ここに深くお詫び申し上げます。個人情報漏洩の二次被害は確認されておりませんが、引き続き、必要な対応をとるとともに、再発防止の対策を講じていく所存です。

1. 概要

2021年4月27日に、本学職員を発信者(差出人)とし、学内の多くの教職員宛に迷惑メールと思われる英文メールが届くとの問い合わせがありました。担当者が調査したところ、当該教員のメールアドレスに海外から不正アクセスがあり、スパムメール送信の踏み台とされていることが確認されました。

すぐに当該教員のメールアドレスを停止しましたが、不正アクセスが始まった4月26日深夜からアカウント停止までの間、メールボックスに残っていたメールや連絡先(メールアドレス)について攻撃者に閲覧された可能性がございます。

2. 被害状況

(1) 送信されたスパムメール数

1,639件

(2) 攻撃者が閲覧できた期間

2021/04/26 23:25~2021/04/27 8:35

(3) 攻撃者に閲覧された可能性のあるメール件数

学内関係者 : 1552件

うち教職員 : 1475件

うち学生 : 77件

学外者 : 82件

(4) 攻撃者に閲覧された可能性のある情報

不正アクセスされた教職員のメールBoxのメール内容、アドレス帳

3. 対応状況

今回、スパムメールが送信された全ての宛先に、注意喚起もしくは謝罪を行いました。なお、今回の事案が発生したことを踏まえ、教職員に対し情報セキュリティ対策についての指導を強化し情報セキュリティ意識のさらなる向上を図るとともに、不正アクセスを防ぐ技術的対策に取り組んで参ります。